

白浜町 津波ハザードマップ

日置川地域

想定地震 南海トラフの巨大地震

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。

津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがおさまったら直ちに避難行動を開始してください。東日本大震災の教訓に学び、想定にとらわれることなく、可能な限り高い所へ避難することが肝要です。いざというときに、毎日の避難訓練や避難路の確認が有効です。

マップには、町が把握している初期避難場所(高台等) 津波避難ビル 津波避難タワー を表示しています。この他にも、自宅の裏山など近くの安全な高台への避難をお願いします。

なお、町が開設する避難所()は、地震・津波の直接の危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

●津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまで8段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さが大きいほど誤差が大きくなるなどを踏まえ、5段階に集約しました。

津波に関する警報と注意報	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表	巨大な場合の発表		
大津波警報	10m超	10m超	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	本道家庭が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m	8m<高さ≤10m		
	5m	3m<高さ≤5m		
津波警報	3m	3m	ここから安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	標高の低いところでは津波が強い浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
	1m<高さ≤3m	1m		
津波注意報	1m	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は強い流れに巻き込まれます。小型船舶が転覆します。

- 震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難を徹底しましょう」。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが10m未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発します。

津波到達時間について

この表示の付近における高さ1m、3m、5m、10mの津波の到達時間を示しています。

初期避難場所(高台等)一覧

No.	名称	海拔(m)	緊急避難先レベル
130	市江地区1(市江崎灯台への道)	12.9	☆☆☆
131	市江地区2(市江地蔵尊厳地)	27.9	☆☆☆
132	市江地区3(目戸地区裏山)	16.0	☆☆☆
133	笠浦地区1(裏山)	13.3	☆☆☆
134	笠浦地区2(太平洋岸自転車道)	14.6	☆☆☆
136	志原地区2(裏山)	11.3	☆☆☆
137	志原地区3(春日神社敷地)	15.8	☆☆☆
138	志原地区4(太平洋岸自転車道)	16.4	☆☆☆
139	志原地区5(バイコン登り口)	18.0	☆☆☆
171	志原地区6(特別養護老人ホーム白浜日置の郷)	11.2	☆☆(避難ビル)
140	日置地区1(村島避難場所)	25.0	☆☆☆
141	日置地区2(寺山避難場所)	50.8	☆☆☆
142	日置地区3(松原避難場所)	30.0	☆☆☆
143	日置地区4(日置地区津波避難タワー)	3.5	☆☆
172	日置地区5(日置地区津波避難ビル)	9.5	☆☆
144	塩野地区1	8.8	☆☆☆☆
145	塩野地区2(塩野薬師敷地)	15.9	☆☆☆☆
146	塩野地区3(生駒神社敷地)	12.1	☆☆☆☆
147	塩野地区4(日置川にみどり牧場敷地)	29.3	☆☆☆☆
148	塩野地区5(県道日置川135号線)	19.7	☆☆☆☆
149	塩野地区6(県道日置川135号線)	22.1	☆☆☆☆
150	大古地区1(長寿寺敷地)	10.0	☆☆☆☆
152	大古地区2(アンソレイユ日置敷地)	8.0	☆☆☆☆
153	大古地区3(梵音寺付近)	17.2	☆☆☆☆
154	大古地区4(瀬田谷避難場所)	21.5	☆☆☆☆
155	大古地区5(秋葉山避難場所)	20.9	☆☆☆☆
156	大古地区6(山崎前避難場所)	22.6	☆☆☆☆
157	矢田地区1(裏山)	22.0	☆☆☆☆
158	矢田地区2(宝勝寺敷地)	15.4	☆☆☆☆
160	安宅地区1(住民交流センター敷地)	6.8	☆☆☆☆
161	安宅地区2(安楽寺敷地)	13.8	☆☆☆☆
162	安宅地区3(開聖地)	34.1	☆☆☆☆
163	安宅地区4(安宅観音敷地)	7.1	☆☆☆☆
164	安宅地区5(八幡神社敷地)	9.3	☆☆☆☆
165	安宅地区6(宝倉避難場所)	23.2	☆☆☆☆
167	田野井地区1(田野井会館敷地)	9.0	☆☆☆☆
168	田野井地区2(田野井小学校敷地)	12.0	☆☆☆☆
169	田野井地区3(天徳寺敷地)	13.0	☆☆☆☆

津波到達時間

+1m: 3分
+3m: 5分
+5m: 6分
+10m: 14分

町が開設する避難所一覧

避難所名	住所	電話番号
市江市民会館	白浜町日置1446番地	—
日置川拠点公民館	白浜町日置980番地の1	52-2680
住民交流センター	白浜町安宅464番地の1	52-2446
アンソレイユ日置	白浜町大古13番地	87-2300
田野井会館	白浜町田野井544番地	52-2476
三舞中学校	白浜町安居635番地	53-0020
旧玉伝小学校	白浜町大古42番地	54-0178
川添山村活性化支援センター	白浜町鹿野1100番地	54-0001

津波到達時間

+1m: 4分
+3m: 6分
+5m: 6分
+10m: 16分

●津波ハザードマップの想定地震●

南海トラフの巨大地震 マグニチュード9.1

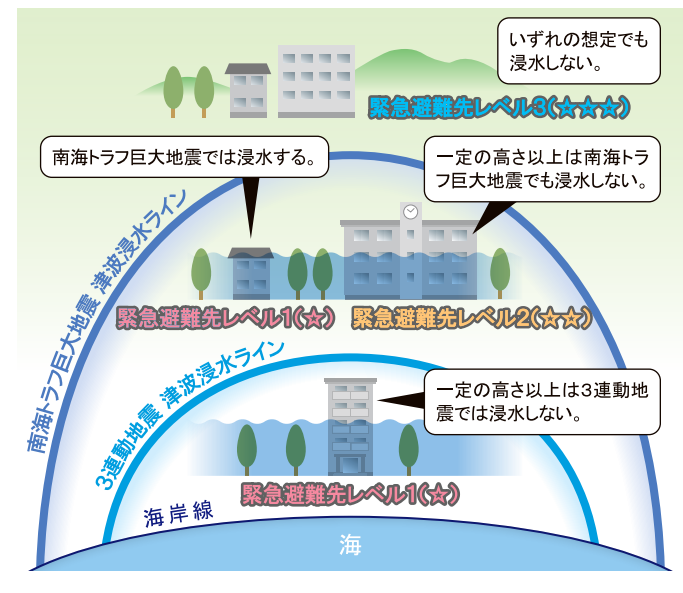
科学的知見に基づき推計した最大クラスの地震です。発生頻度は極めて低いとされています。

東海・東南海・南海3連動地震 マグニチュード8.7

約90年から150年周期という高い頻度で繰り返し発生している地震です。

避難先の安全レベルについて

和歌山県は、独自の取り組みとして避難先の安全レベルの設定を行っています。避難先の安全レベルの考え方には次のとおりです。



緊急避難先レベル3(☆☆☆)

「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域外の安全な場所を指定。

緊急避難先レベル2(☆☆)

緊急避難先(レベル3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波の浸水深より高い場所。

緊急避難先レベル1(☆☆)

緊急避難先(レベル2及び3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波では浸水する場所。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域内で、「東海・東南海・南海3連動地震」による津波の浸水深より高い場所。

津波到達時間

+1m: 3分
+3m: 5分
+5m: 6分
+10m: 15分

東海・東南海・南海3連動地震

津波避難の3原則

- 1 想定にとらわれるな!**
●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。
- 2 率先避難者たれ!**
●強い地震や、弱くても長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報を待たず避難しましょう。
●家族が離れたところにいる場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、再会することとして、自分ひとりでも避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことに繋がります。
- 3 最善をつくせ!**
●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

参照: 群馬大学大学院 片田敏孝 教授著「人が死なない防災(集英社新書)」

震度分布図

南海トラフの巨大地震

凡例(震度)

震度6強
震度7

液状化危険度

南海トラフの巨大地震

凡例(PL値)

かなり低い(PL=0)
低い(0<PL≤5)
高い(10<PL≤15)
かなり高い(15<PL≤30)
極めて高い(30<PL)

津波対策10か条

津波から身を守る最大のポイントは、「逃げるが勝ち」です。地震発生後、津波による災害の発生が予想されたら、すぐに避難しましょう。

- 1 家族会議を開こう**
避難する場所を事前に家族で話し合っておきましょう。
- 2 小さな揺れでも油断禁物!**
小さな揺れでも津波の危険性があります。
- 3 引き潮がなくても注意!**
津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。
- 4 満潮のときは要注意**
水位が高くなっているため、被害が大きくなります。
- 5 津波のスピードは速い!**
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。
- 6 高い場所へ避難する**
海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。
- 7 注意報、警報が出たら**
家族や近所に知らせ、急いで高台に避難しましょう。
- 8 正しい情報を聞く**
ラジオ・防災無線などで、正しい情報を聞き取りましょう。
- 9 津波はくり返し来る!**
津波はくり返し襲ってきます。波が落ち着くまでは避難しておきましょう。
- 10 海岸・河川に近づかない**
「注意報」や「警報」が解除されるまで、海辺や河川には近づかない。